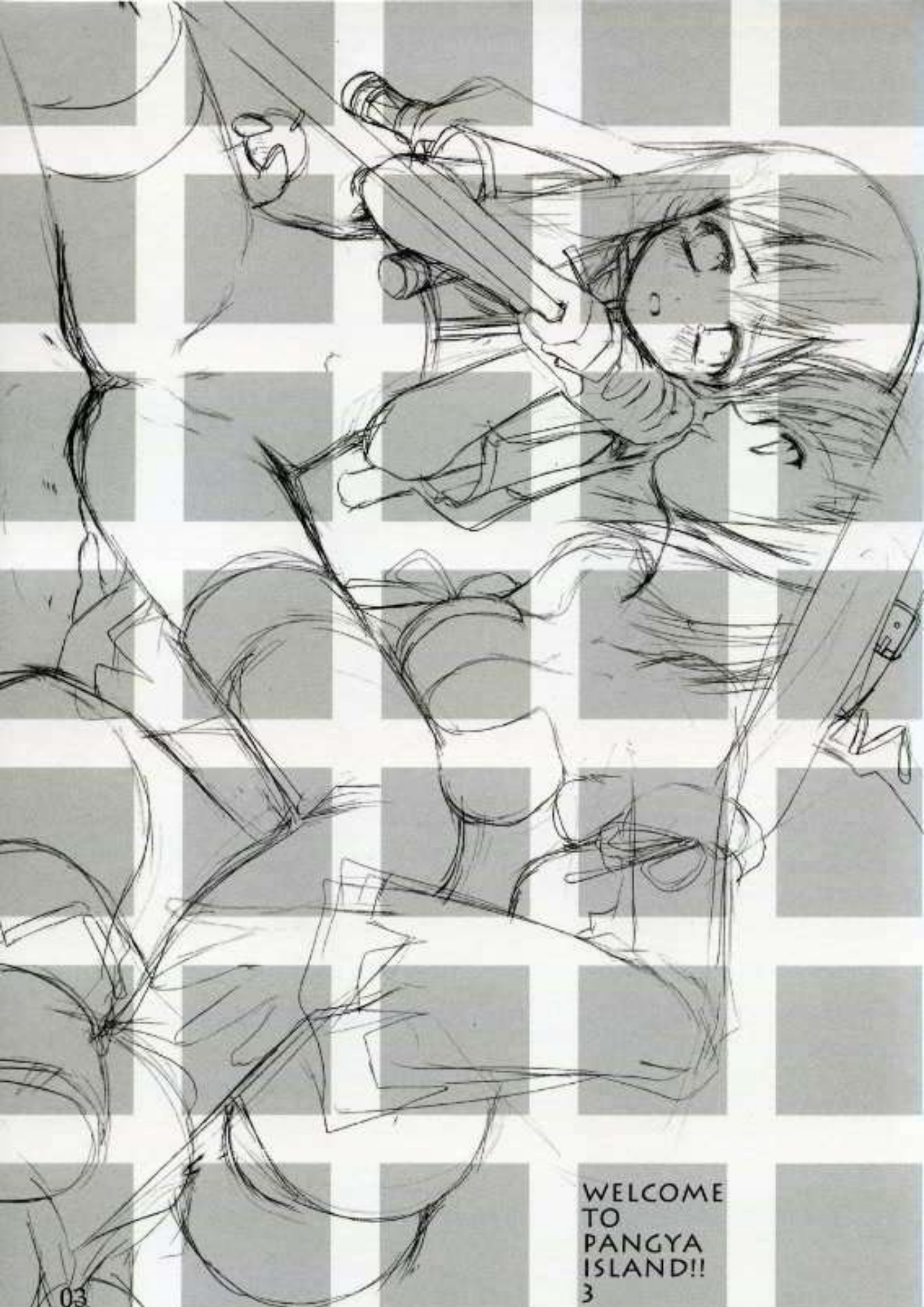


WELCOME  
TO  
PANGYA  
ISLAND!!

3



FOR ADULT



WELCOME  
TO  
PANGYA  
ISLAND!!  
3

こんにちは、あすまです。

今回は3冊目のバンヤ本です～。えち本ですよーw

ティツキーとカディエのマンガですが、なにせ私のティツキーレベル低くてアクションあまりしない上、カディエは未実装だしで、かなり勝手にキャラ作ってます(^\_^;

そういえば、新プレイヤーキャラのクー!

お約束過ぎてハマってなんかやるもんか!と思いながらつい情報探していたり(笑  
早く実装されないかなあ……。PPだとちょっときついのでCPにして欲しいけど  
それはそれで魅力的なキャラだからどっちにしろ高くなりそう……。

話はもどって今回のマンガ、当初は16pで  
描くかあと思っていたんですが、P数が  
足りずそこそめ切り前日に22pのマンガに  
変更するというテンパったことを

したおかげであとがきやら

奥付やらのページが

取れませんでした(^\_^;

それでももう少しp数が

欲しいトコではあったんですが、

ギリギリまで商業にかかりつきり

だったのでこのボリュームが精一杯です～。

そんなこんなで、少しでも

お楽しみ頂けるととても嬉しいです☆

それでは、また～♪

AZUMAYUKI・04・DEC



発行: いそや本舗

発行日: '04.12.30

連絡先: imomuya@mvg.biglobe.ne.jp

URL: <http://imomuya.com>

印刷所: 総場社様

※無断転載・コピー・ネット上での配布はご遠慮下さい。

今回お供させて頂きます  
ティツキーです…

えっキミが…？

か…かわいいなあ…

は、はいっ 未熟者ですが  
よろしくお願いしますっ



きのうのこと...

え？  
好きな人？

へえ...で  
明日ラウンドすること  
になったの？


うんっ

ほん...


そうなの...  
今度現実世界から  
きた男の子で...

わたしを指名して  
くれたんだあ♡





今このコの雇用料  
サービス価格なの  
教えない方がいいわね



まあ楽しんで  
らっしゃいな

はあっ



我が妹は  
しっかりやってる  
かしらね〜



バ  
ー  
ナ  
イ  
ス  
デ  
イ  
で  
す  
〜

ぽ  
ゃ  
〜  
♡



お  
ー  
。。  
や  
っ  
て  
る  
や  
っ  
て  
る



20

あっきれた

でれっ と付いてってる  
だけだわ…

あれじゃ  
起こる事件も  
起きないわよ…



!

ひゃ…







やっ…なっ…何？

ふあんっ

んんん

んんん



何でもないですっ

あっやっ...



え？



わ...っ



♡モモ♡



がんばるわねー♡

あの少年も  
ボツと立ってないで  
何かしたらどうなの？

これなら  
どうだっ

うわわっ！

いやあっ

ほっ



やだっ

ほっ

かくしちや  
だーめ!

ふえ〜…ん  
はずかしいよあ…っ

ちゅっしゅっしゅっ!

わ…わ…っ

~~~~~

びくっ



あなた女の子の  
こんな姿見て  
何も感じないの？

お……お姉ちゃんっ

ひっ……

なんだ  
ちゃんと  
勃ってるじゃない

うあ……あ……っ

かっ

ティツキーも  
見つめてるだけじゃ  
何も起きないわよ

おねえちゃん  
これはずしてえ

だあめ



いい？ホウヤ  
よく見てなさい

おねえちゃん  
何す……っ

そんなあ……っ

ひろげちゃやあっ

中まで  
みえちやうよあ

はっ

しっかり見てもらいなさい  
ティツキーの大事なトコ

ふふ……ナニガしたいのか  
言ってごらん？



…さ…触って  
…みたい…

…うわ

グンッ

やさしくね  
ピラピラした所を  
撫でるように…

指を入れるのはまだ早いわ  
もっとビチャビチャにして  
あげなきゃね…

がく、  
がく、





そろそろ  
いいかしら

はあ、  
…入れても？

いいわよ

ほらほらティッキー  
あなたからも ご奉仕して  
差し上げなさいな

あ…っ

んほー…うん



うふふ かわいい  
おチンチン♡  
おいでティッキィー

あっ……っ

ゆっくりむいて……  
あまり下に引くと  
痛いから……

こ……これを？

そっ……

きゅん

ひゅん

あき

くわん

……すごく……  
かたあい……

うっ……

あっ……  
あっ……



あらっ…

ひゃっ

ふるふる

あっ…  
ほく…っ

ん？

ヒッ  
ヒッ  
ヒッ

ヒッ  
ヒッ  
ヒッ



でもすっごく…  
濃い…匂い…

ひよっとして  
初めてだったのかしら？

なあに もう  
射精しちゃうたの



いい気分にな  
って来ちゃった

ゴクンッ



まだまだ  
おうちには  
帰らせないわよ

ぽんぽん



きつっ…

そ…んな…

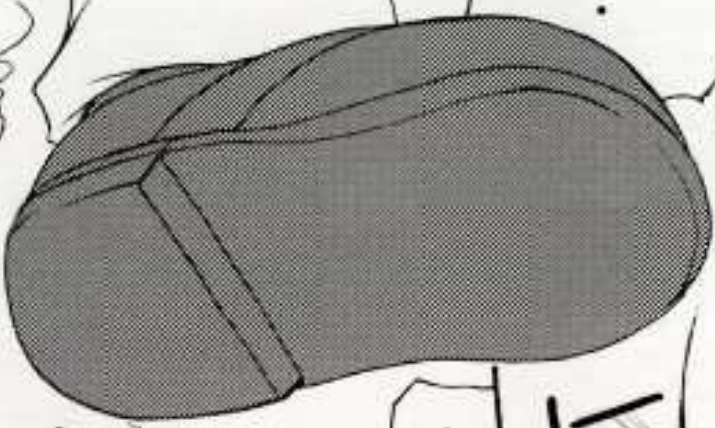
力を抜きなさい  
ティツキー？

いっ…たっ

も…少し

あああっ…

しっ  
しっ



はいったあ…

おっ  
おっ

…っあっ

しっ  
しっ

ずっ

ずっ

あっ……っ

す……す……らよお  
ティツキーの中に  
入っちゃって……あっ

ズキッ  
ズキッ  
ズキッ

ズキッ  
ズキッ  
ズキッ

あっ……

こらっ あなたも  
力抜きなさい!

えっ……あ……っ

あら？すんなり  
入れられたわよ？

ひよっとして  
初めてじゃないのかしら？

そ…そんなことっ

ふうん

ひゃ…っ

おちん…ちん…っ  
すっごくふくらんだよお？

いつちやいなさい  
二人とも!

お女さん

あア

お女さん





はあ……っ



うっ……く

あ……っあっ



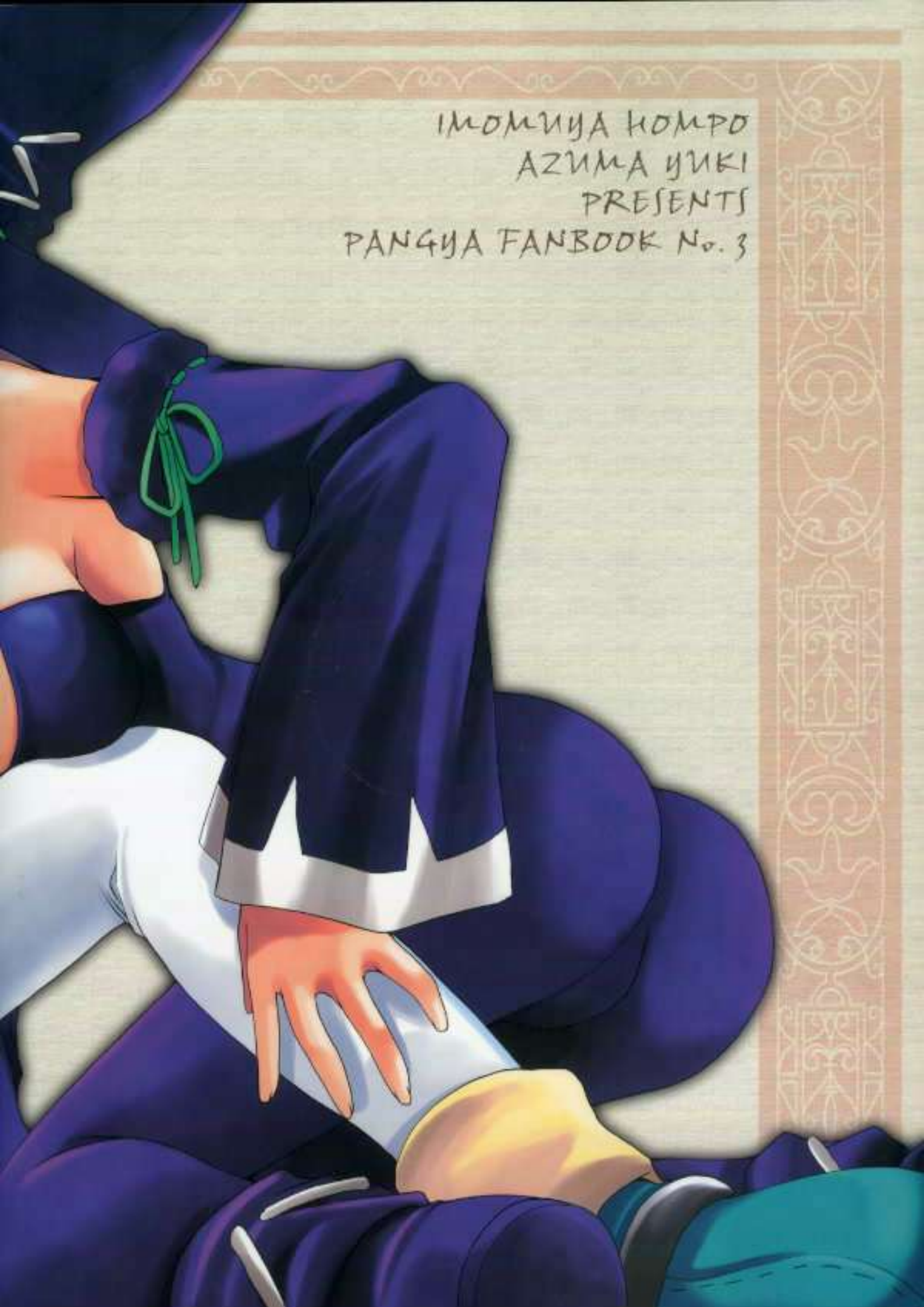
は……はっ



だ……大丈夫……  
だった？



ここまでやって  
なんだけど……  
すんごい  
むなしいわね  
わたし……



IMOMIYA KOMPO  
AZUMA YUKI  
PRESENTS  
PANGYA FANBOOK No. 3